平成１６年度中間調査報告書

副理事長　　加藤　誠一
理　　事　　青沼　義信

平成１６年度中間調査を実施したので報告します。

今年のネパールは、雨期が非常に永かったため、がけ崩れによる通行不能や、道路状態の悪化による車両転落等が発生していること、まだ治安に対する懸念があることから、タンセンの訪問を断念せざるをえなくなり、ルンビニを中心に調査を行わざるをえなかった。

しかし、齋藤理事長と共にネパール訪問をされた、マズワニ高等学校校舎及び図書室建設資金の一部を援助された国際ソロプチミスト町田‐さつき役員（以後‐ソロプチミスト－）の視察団と合流して行動し、現状をつぶさに見ていただいたことで、ソロプチミストの皆さんにネパールの現状を、より痛切に感じていただいた意義のあるものになったように感じられた。

中間調査日程

１１／　１　　ｍｏｎ　　日本～タイ

- 成田空港～バンコク空港
- バンコクホテル－コンフォート　スイーツ　エアポート　バンコク－宿泊

１１／　２　　ｔｕｅ　　タイ～カトマンドゥ

- 定刻にトリヴァン空港に到着するも、パキスタン・アジス首相の訪問に遭遇、待機したため約１時間遅れの１３時４０分頃ＯＵＴとなった。

１１／　３　　ｗｅｎ　　カトマンドゥ

- １９時、トリヴァン空港にて齋藤理事長及びソロプチミスト視察団を迎え合流。

１１／　４　　ｔｈｕ　　カトマンドゥ～ルンビニ

- パドゥマ・カニヤ女子校訪問、交流。
- トリヴァン空港～バイラワ～ルンビニ
- シリ・グルワニマイ小学校訪問

１１／５　　ｆｒｉ　　ルンビニ

- シリ・アマリ小学校建設現場視察・計測
- シリ・パダリヤ小学校視察
- シリ・マズワニ高等学校建設現場視察・計測
- シリ・マズワニ中学校訪問

・ シリ・マズワニ小学校訪問
・ シリ・スンディ小学校訪問
・ シリ・ジャナヒート小学校視察
・ シリ・シリ・ラム小学校訪問、下校後のため視察のみ
・ シリ・ルンビニ小学校訪問、　　〃

１１／　６　　ｓａｔ　　ルンビニ～ポカラ
・ シリ・アディアリ小学校訪問
・ マホマディア小学校訪問するも８月に廃校になった
・ シリ・ハジヤナ・エトラハ校訪問、休日休校のため視察のみ
・ ルンビニ～バイラワ～ポカラ
・ ポカラ市内散策

１１／　７　　ｓｕｎ　　ポカラ～カトマンドゥ～ナガルコット
・ サランコットほか観光後空路カトマンドゥへ
・ カトマンドゥ・トリヴァン空港よりナガルコットへ

１１／　８　　ｍｏｎ　　ナガルコット～カトマンドゥ
・ カトマンドゥ着後市内散策・バザー用民芸品購入
・ 在ネパール日本大使館へ訪問日時のアポをとった
・ マテマ前駐日ネパール大使ご家族と夕食を共にし歓談

１１／　９　　ｔｕｅ　　カトマンドゥ
・ 在ネパール日本大使館訪問　冨田一等書記官と面談
・ バザー用民芸品購入後、サムンドラコンサートに参加
・ 加藤副理事長ビル爆破現場近くで爆破を目撃。
・ 齋藤理事長及びソロプチミスト視察団３時間遅れで帰国の途へ

１１／１０　　ｗｅｎ　　カトマンドゥ～バンコク
・ 朝食後ラマ氏と最終打ち合わせの後トリヴァン空港へ
・ バンコク空港に定時着。待ち時間５時間余の後、成田行きへ搭乗

１１／１１　　ｔｈｕ　　バンコク～日本
・ ほぼ定刻の７時３０分成田帰着

調査報告

１１／１

昨年までは、ANA 及びロイヤル・ネパール航空による、羽田空港～関西空港～カトマンドゥ・トリヴァン空港での渡航だったが、時間的遅れが日常化しているので、タイ航空によるバンコク経由を試みた。

○　航空機

定刻（１０：４５）成田空港を発ち、定刻より２５分早い現地時間１５：２０到着。（７時間）

発着時間は往復ともほとんど定刻で、航空機も新しく、成田～バンコクには日本人スチュワーデスも乗務しており安心感があった。（但し、バンコク～カトマンドゥ間には日本人乗務員は居ません）

○　ホテル

空港に近い－コンフォート　スイーツ　エアポート　バンコク－でしたが、連絡の不備からか、バンコク空港への迎車が来て居らず、案内所に３回連絡、迎車は１時間後となった。

乗車人数より車が小さく、２人席に３人座ったりの状態で、サービスは良くなかった。

部屋は広く申し分なかったが、空港が近いため夜中発着航空機の騒音で安眠できない場合がある。　　宿泊費：ツイン室料４５００円（一人当たり２２５０円）

今後バンコク経由の際の宿泊には、空港からある程度離れたホテルにすべきと思った。

１１／２

○　バンコクを定刻の１０：３０発でカトマンドゥ・トリヴァン空港へは１２：４０着だったが（飛行時間約３時間３０分）空港でパキスタンのアジス首相訪ネ行事のため、機外に出る事が出来ず１時間の機内待機となった。

空港でビザ申請に並んでいると、女性空港職員が私たちの名前を書いた紙をかざして来たので驚いてしまったが、ラマさんの日本語学院の生徒さんのスリジャナさんで、お陰さまでスムーズに通過できた。ラマさんの心配りに感謝。

○　１７時、ネパソン犬飼悦子さんがサムンドラ　コンサートの打ち合わせに来られる。

１１／３

○　午前中、ラマさんの案内でホテルからスワヤンブナートまで写真取材。

○　午後、悦子さんの案内でコパンのチベット仏教修行場（修行僧５００人）を訪ね、帰途ボダナートへ立ち寄った。

○　１９時過ぎ、斎藤理事長及びソロプチミスト４名の皆さん保育士さん２人を空港にて出迎え、レイをもって歓迎。

１１／４

○　パドゥマ・カニヤ女子校訪問

- **ソロプチミストの山口会長がフラワーアレジメントデモンストレーションを行い、先生・生徒の賛辞を浴びた。**
- **持参しプレゼントしたバレーボール３個とソロプチミスト持参のナワトビにより生徒との交流を行なった。**

昼食後１４：４０のフライトでバイラワ経由ルンビニへ。

○　グルワニマイ小学校訪問

- **道路を隔てた向かいにあるセメント工場や従業員の好意で２教室を寄贈されていた。**
- **ソロプチミスト持参のビニール袋プレゼント。**
- **特別な要望はなかった。**
- **´０３、´０４年生徒数の調査を行なった。**

	２００３年			２００４年		
	男	女	計	男	女	計
1年	４８	３４	８２	５４	４９	１０３
2年	３３	２０	５３	４４	２３	６７
3年	４８	２０	６８	４１	２３	６４
4年	４３	２２	６５	４１	２２	６３
5年	３０	１２	４２	２８	１１	３９
合計	２０２	１０８	３１０	２０８	１２８	３３６

１１／５

○　アマリ小学校建設現場視察・計測

学校理事長・校長・教員（男２，女１）をはじめ村人約５０人が集り、学校理事長が歓迎と感謝の挨拶を行った。なお、感謝状を追って郵送するとの事であった。

- **学校からの要望により次のように設計変更され、変更図面はラマさんから郵送してもらう事とした。**

  当初設計の３教室１職員室新築を４教室に変更し、職員室は村の資金により建築する。従って教室は既１教室と併せ５教室とすることとした。

  設計変更後による土台、外壁、屋根の工事はほぼ完了し、約１ヶ月のコンクリート乾燥待ちの状態であり、現在の完成度は約６０％で、完成は２月末日の予定である。

  建設資金は予算額１４５４０００円を超えない予定である。

  プレートの日本文をメールで送信指示を要請された。

・ 

現在の生徒数は次の通り。

	男	女	計
１年	３３	３２	６５
２年	２４	１５	３９
３年	１０	１０	２０
４年	１１	２	１３
５年	７	４	１１
合計	８５	６３	１４８

・ 生徒にノート・エンピツ・消しゴム・ビニール袋をプレゼント。
・ 現在、会員の山下氏の資金により旧井戸を廃棄し、新しく井戸を建設中であった。
井戸ポンプが盗まれるので、テストケースとして井戸をレンガ小屋の中に入れ、扉をつける事にしたものである。

○ シリ・パダリヤ小学校視察

昨年も立ち寄り雨漏り修理の請願があった小学校である。
昨年よりひどくなったようで左側の旧校舎は教室として使えず物置となっていた。
右側の校舎も多少の雨漏りがみられるとの事であった。
今回は正式に校長・理事長サインの請願書が提出された。
現在教師４名・生徒１６０名である。

○ シリ・マズワニ高等学校・図書館建設現場視察

- 建設工事進行状況：　１階外壁はレンガ積みがほぼ完了し、コンクリートの乾燥を待っている状態である。完成率約３０%だが来年２月末完成の予定である。
- 建設レイアウトの関係から校舎の裏が農地にはみ出す事となったが、中学校と同様に地主からその部分の提供を受けることが出来た。
- 変更後の建設図面はラマさんより郵送する事となった。
- 設計変更内容は次の通りであった。
  ① 総２階建てとし内階段とするため階段室を設ける。
  ② １階職員室は中央でなく右階段室の隣としドアはシングルドアとする。
  ③ ２階は図書館部分と実験室・階段室とする。
  ④ 階段室を設けるため正面が３m広くなった。
  ⑤ 時計・スピーカーは盗難の恐れから看板にしたい。
- 
- 建設費は予算の２５０００００円であがると思われるが、現在鉄筋の価格が高くなって居り、多少オーバーの可能性も否定出来ない。
- 教育委員会に支払う供託金は村で出せる予定である。開校は来年中学卒業者が入学出来るよう協議の上努力するとの事である。
- 供託金の目処がついたら連絡。
- 入学者は他地域からの入学者も見込まれることから、５０人くらいと思われる。
-
-

- 制服はシャツ・ズボン・ネクタイとし、入学直後（５月）にしたい。
  （現在中学は入学後翌年３月に支給しているが、今後中学も入学直後にしたい）
- 高校卒業後の進路は、男子：商売・公社の仕事 etc。女子：先生・縫い物・看護婦 etc
- 図書館管理：村としての具体的な対策は検討していない。ラマさんは先生の管理や専任者の管理は、時間的な面・賃金の面などでも検討しなければならない。
  案として高校生に図書クラブを作ってもらい、高校生による自主管理を提案してみた。これは生徒の自主性育成のためにも良いのではないかと思われる。それと同時に清掃クラブ（仮称）も組織し、高校生の自覚を強くすることも推し進める。
  これにはリスクもあるが覚悟の上で推し進めてみたいが・・・・
- 図書内容：高校生だけでなく小中学生も利用できるようにしラマさん選択依頼。
  小学生・・・・・絵を中心に簡単な説明がついたもの
  中学生・・・・・一般知識についての本
  高校生・・・・・専門的な参考書
- 村長・学校理事長も出席し意見の交換をした。
  その際これでマズワニ小・中・高が揃ったのだから、近隣のモデル校となるべく期待している事を強調しておいた。

○　シリ・マズワニ中学校訪問

ソロプチミストの方々のエンピツ・消しゴム・ビニール袋のプレゼントで交流。

- ０３、´０４年生徒数

	２００３年				２００４年		
	男	女	計		男	女	計
１年	３４	２８	６２	１年	３４	１８	５２
２年	２１	２０	４１	2年	２２	１９	４１
３年	２６	１８	４４	3年	２０	１１	３１
合計	８１	６６	１４７	合計	７６	４８	１２４

○　シリ・マズワニ小学校訪問

各学年交流後、校舎補修箇所と補修状況を調査。

・　補修状況：ひび割れ等はモルタルによる補修を完了。今後は塗装を部分的にするか全体の塗装にするかを検討しているようだが、全体の塗装にすべきと思われる。

窓枠破損部分も補修したいので補修方法（溶接方法）を検討しているとの事である。

- 補修費用：スンディ小学校の補修を含み２０万円余との事であった。
- ´０３、´０４年生徒数の調査を行なった。

	２００３年				２００４年		
	男	女	計		男	女	計
１年	４５	３１	７６	１年	２１	２０	４１
２年	４０	３３	７３	２年	４１	３１	７２
３年	４１	２９	７０	３年	４１	３８	７９
４年	３８	２３	６１	４年	４５	２６	７１
５年	３４	１６	５０	５年	３５	２４	５９
合計	１９８	１３２	３３０	合計	１８３	１３９	３２２

○　シリ・スンディ小学校訪問

金曜日の授業は午前中のため生徒は下校して居なかった。

新しくスベリダイとウンテイが据えられてあった。

- 職員室の雨漏りと校舎のひび割れはモルタルでの補修が終わり、職員室の雨漏りはなくなった。
- 今後の要望として、校舎まわりの柵の設置と教室内の机・椅子を要望され、校長名で請願書を提出された。
- ´０３、´０４年生徒数の調査を行なった。

	２００３年				２００４年		
	男	女	計		男	女	計
１年	７４	５２	１２６	１年	１００	８０	１８０
２年	５８	２２	８０	２年	４７	２６	７３
３年	２６	１３	３９	３年	４１	１９	６０
４年	２０	５	２５	４年	２９	１０	３９
５年	３２	３	３５	５年	２０	５	２５
合計	２１０	９５	３０５	合計	２３７	１４０	３７７

校長の話では、校舎を建ててもらってから女子とカーストの低い子供の入学が多くなったとの事であった。

○ シリ・ジャナヒート小学校　（次期建設候補校）

校長が請願のため、朝からスンディ小学校で待っていたと言う事で、請願書を持参。スンディ小学校校長の口添えもあり次期建設候補校として視察した。

- 場所：ドウビハワ村（スンディ小学校の北へ約２０分。・道路状態悪く遠回りした・）
- ２教室大の校舎１つで現在４年・５年生が使用。１・２・３年生は道路向かいの林の中が教室となっているため雨天の授業は出来ない。

・ 請願書に教室数の記載はないが、４教室・１職員室を希望している。
土地は計測していないが５００坪ぐらいと思われる。
・ 現在の生徒数は次の通りだが、他校に比べ女子の数の比が大きい。

	男	女	計
１年	６３	６４	１２７
２年	３８	３３	７１
３年	２６	２０	４６
４年	２８	１４	４２
５年	１０	１４	２４
合計	１６５	１４５	３１０

○ シリ・シリ・ラム小学校訪問
先生・生徒下校のため校舎視察のみ。
校舎建設の中学校は供託金の未納付のためか、まだ開校していなかった。
ラマさんを通じ´０３、´０４年生徒数のデーターをもらった。

	２００３年				２００４年		
	男	女	計		男	女	計
１年	５７	２４	８１	１年	５６	４０	９６
２年	３２	１１	４３	２年	４７	２７	７４
３年	３２	６	３８	３年	３３	１０	４３
４年	５６	７	６３	４年	４６	６	５２
５年	２７	５	３２	５年	４５	７	５２
合計	２０４	５３	２５７	合計	２２７	９０	３１７

○ ルンビニ小学校訪問　　先生・生徒下校のため校舎視察のみ
ラマさんを通じ´０３、´０４年生徒数のデーターをもらった。
今年から５年生にした事は他の学校と同レベルになったことで嬉しい事である。

	２００３年				２００４年		
	男	女	計		男	女	計
１年	８５	２０	１０５	１年	８３	２５	１０８
２年	１７	２０	３７	２年	２０	１４	３４
３年	２２	１２	３４	３年	１７	１５	３２
４年	１５	９	２４	４年	１２	８	２０
５年	－	－	－	５年	９	９	１８
合計	１３９	６１	２００	合計	１４１	７１	２１２

○ マズワニ保健センター訪問したが診療終了していたため医療関係者不在、寺子屋もこの日閉鎖しており外からの視察のみとなった。

しかしマズワニ村村長は我々を待っていてくれ再び会うことが出来た。

・　マズワニ村村長の友人でシリ・アマ中学校校長より、校舎建設の請願書が提出された。

現在４教室有るが生徒が５００名のため教室が不足しているので、校舎の増築を援助してもらいたいというものである。生徒の４０％が女子である事を強調していた。

１１／６

○ シリ・アディアリ小学校訪問

土曜日休校のため生徒は不在だったが、校長と会うことが出来た。

・ 今後の要請は、①回りの柵を完全に造りたい。②机・椅子を整備したい。

・　´０３、´０４年生徒数の調査を行なった。

	２００３年				２００４年		
	男	女	計		男	女	計
1年	５０	３０	８０	1年	５４	４４	９８
2年	４８	２７	７５	2年	５９	１８	７７
3年	４５	１５	６０	3年	５４	２４	７８
4年	２６	５	３１	4年	３３	１６	４９
5年	２４	１１	３５	5年	２３	３	２６
合計	１９３	８８	２８１	合計	２２３	１０５	３２８

○ マホマデア小学校を訪問したが８月に廃校になった。
生徒は近隣のマダラサピパラ小学校に転校したとの事で訪問。
ソロプチミストが中心にエンピツなどをプレゼントし交流。

○ シリ・ハジヤナ・エトラハ校を訪問したが休日のため休校。校舎のみ視察。

ルンビニ地区学校訪問視察を終了しバイラワ経由で空路ポカラへ。ポカラにて宿泊。

１１／７

ポカラから空路カトマンドゥ経由ナガルコットへ。ナガルコットで宿泊。

１１／８

カトマンドゥ着後市内散策・バザー用民芸品購入。

・ 在ネパール日本大使館へ訪問のアポをとる。

・ 夕刻マテマ前駐日ネパール大使ご家族と懇談夕食を共にしたが、さくら祭や茶会への参加などを非常に懐かしんで居られた。
前大使は現在トリブヴァン大学でネパールの教育制度などの研究をしており、会の活動について真剣に耳を傾けていた。
その中でルンビニの校舎不足で木下で勉強しているなどと現状を説明したと

ころ、そのような状態を信じられないような表情で聞いていた。そのような状況は報告がない様で、これも低カーストに対する無関心の表われと認識されたようだ。
マテマ前大使の今後に注目したい。

１１／９

- 在ネパール日本大使館を訪問をした。昨年お会いした鈴木公使は不在のため会えなかったが一昨年お会いした冨田晃次一等書記官と面談した。
  安全情報：ダサイン祭り期間中は目立った動きはなかったが、終わってから再び動き始めたようで、大使館でつかんだ１２月までの別紙情報をもらった。
  衣料品の支援：支援のために配布する衣料品は全て無税だったが、リサイクル品を支援のためと称して持ち込み商売をしていた者が居り、課税するようになった。いずれ撤廃されると思うが時期は不明。
  活動情報：今年現地ＮＧＯが集り情報交換をしたが、ミカの会も入っては！とのことだった。　会の活動情報を書記官宛と大使館資料室宛に送ってもらえば大使館とのパイプとなると思う。との事であった。
- 加藤副理事長市内散策中ビル爆破現場近くで爆破を目撃、怪我人３７人とのこと。
  ラマさん妹のジャンモさんも怪我人の治療に当ったとのことでした。
- バザー用民芸品購入後、サムンドラコンサートに参加サムンドラの人々と交流。
- 齋藤理事長及びソロプチミスト視察団３時間遅れで帰国の途へ

１１／１０

- 朝食後ラマ氏と最終打ち合わせの後トリヴァン空港へ
- バンコク空港に定時着。待ち時間５時間余の後、成田行きへ搭乗

１１／１１

- ほぼ定刻の７時３０分成田帰着

上記のほかラマさんと打ち合わせた事項は次の通り。

- 既支援校への支援品は今までの方法で良い様に思われる。

- 清掃具支援は、とりあえずマズワニ校をモデルとするように指導してはどうか？
- 図書支援はラマさんに委任したい。
- 理系校への実験器具などの支援は、従来の顕微鏡や計測器などが良い。
- 教員研修について：　特に現在は先生にもマオイストが居るので、人は信用できない状態にあり、しばらくは様子を見てほしい。
- 衣料支援：新品の支援衣料品は無税だが、リサイクル品の輸入には課税される制度で２万Ｒｓだった。今後の衣料品支援は一考を要するものと思われる。１２月にルンビニに運び品物を見ながら贈る相手を決めるようにする。
- タンセン写真展：　ラマさんの感じではネパールの写真だけではなく、日本を紹介するような（町田でも良いと思う）写真が２０～３０枚あったほうが良いと思う。
- 支援の旅ルート（バンコク経由）：
  メリット：航空機が毎日運行されているので日程を自由に決められる。
  時間が正確でバンコク泊りなので体が楽である。
  航空機が広くきれいである。
  成田～バンコクは日本人乗務員が居て日本語のアナウンスがある。
  カトマンドゥに昼到着、帰途も午後２時ごろなので送迎のラマさんが楽。
  デメリット：往きに一泊するので日程的に今までより１～２日多くなる。
  帰途乗り継ぎに５時間の待ち合わせがある。
  空港近くのホテルは航空機の騒音が激しいので、多少遠くになる。

- 民芸品製造：カゴやナベしきは既に作成されているが、市場には出ていない。
  ルンビニ聖地公園事務所に展示されていた。
  デザインや色の配色を指示すれば作成は可能。
- 資金の送金：送金手数料が勿体無いので今後支出予定の予算全額送金してもらった方が良い。